

1 研究主題（研究テーマ）

『社会に開かれた中学校社会科の学びをめざして』
～学びの多様なアクセスを可能とする授業実践を通して～

2 主題設定の理由

県中社研は、「社会に開かれた中学校社会科の学びをめざして」を研究主題とし、学びの STEAM 化と学びの個別最適化をサブテーマとして、研究を推進している。

三養基支部では、この研究主題を踏襲し、「社会に開かれた中学校社会科の学びを目指して」を研究主題とした。また、既存の教材はもちろんのこと、ICT 教材や LP を活用するなど、生徒が様々な方法で学びに向かえるようにし、「学びの裁量権」を保障する授業実践ができることを目指してサブテーマを「学びの多様なアクセスを可能とする授業実践を通して」とした。

3 研究の内容

- (1) 既存の学習材や ICT、LP の活用
- (2) 「学びの裁量権」を保障する『学び合い』（個別最適な学びの授業実践）
- (3) 自己の考えの再構築と振り返り活動の充実（単元シートの作成）

4 研究経過

- (1) 令和 5 年 5 月 24 日 第 1 回三養基地区社会科主任研修会（中原中学校）
…研究課題の設定
- (2) 令和 5 年 10 月 13 日 第 2 回三養基地区社会科主任研修会（三根中学校）
…研究授業および授業研究会

5 研究成果と課題

研究授業は、九州地方、中国・四国地方、近畿地方を一つの単元とし、まとめとして「魅力ある旅行先を決めよう」というテーマのもとパワーポイントを用いてプレゼンを行い、forms でお互いに評価を行うものであった。その後の研究会では、ICT を積極的に利用したものであり、生徒の興味関心を引き、主体的に学習を進めるためには効果的であったこと、「観光」という側面のみでなく、他の既習事項ともリンクさせることができるとなおいことなどの意見がでた。

現時点での課題として、学校によって学び合い活動がうまく実施できない（フリーでの学び合いが望ましいが、收拾がつかなくなる可能性があるためグループ活動が精いっぱい）ということ、パフォーマンス課題の設定の難しさ、パフォーマンス課題に取り組むための時間の捻出が難しいということがあげられる。

第2学年 社会科 学習指導案

日 時：令和5年10月13日（金）5校時
場 所：1階多目的室 2年2組（23名）
指導者：教諭 江頭 正浩

1 本単元における主体的な学びのための手立て

ICT を活用し、グループで多面的・多角的に考察しプレゼン資料の発表とフォームズで評価を行う。

2 単元名 日本の諸地域（九州地方・中国四国地方・近畿地方）

3 単元の指導目標

三地域の区分や分布などに着目し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、地域的特色をとらえる資質・能力を身につける。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
三地域（九州・中国四国・近畿地方）の特色を、自然環境や産業、文化の視点から、写真、地図、統計データなど、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、情報をまとめている。	三地域における地域的特色や産業、文化など、どのような魅力があり、どのような学びがあるか、多面的・多角的に考察し、表現している。	旅行の視点からみた三地域の特色について、それぞれの違いを意識しながら独自の魅力を調べ、主体的に追及しようとしている。

5 単元の指導計画（全22時間 本時21/22）

次	学習活動	教師の指導・支援	評価とその方法（評価規準）	時配
1	九州地方	三地域の自然環境と生活、産業との関わりについて課題や特色を主体的に追究するように支援する。	九州地方について、自然環境に関する特色を理解し、その特色を生かした産業や歴史文化など、さまざまな情報を調べ、まとめている。【知識・技能】	5
2	中国四国地方		中国四国地方について、自然環境に関する特色を理解し、お互いの結びつきの変化や産業について理解している。【知識・技能】	5
3	近畿地方		近畿地方について、自然環境や歴史的背景、関連する事象を読み取る技能を身につけ、地域的特色を理解している。【知識・技能】	5
4	旅行プラン作成	プレゼン資料の作成について助言する。	地域的特色から旅行の学びにつながる旅行プラン作成について関心を持ち、自分の意見を述べている。【思考・判断・表現】	5
5	章のまとめ	タブレットや書籍を用いて必要な資料を収集・精査し、発表するための支援をする。	タブレットや書籍を用いて、旅行の行先に関する資料の収集を行い、自分の考えをまとめることができている。【知識・技能】 話し合いを通して多面的・多角的に考察するとともに、行先について自分の考えを発表している。【思考・判断・表現】	2 本時

6 本時の指導目標

パフォーマンス課題「三地域（九州地方・中国四国地方・近畿地方）の学習を通して、旅行の行先を選定するためのプレゼン発表をしよう」について、グループで旅行プランを作成し、行先の魅力や学べる内容を説明することができる。

7 本時の評価規準

(1)パフォーマンス課題に対して、意欲的にグループ発表に参加している。

【主体的に学習に取り組む態度】

(2)旅行プランの発表において、単元を通して学習した内容や資料から、多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現できている。

【思考・判断・表現】

8 本時の展開

過程	学習活動	形態	□指導上の留意点 (◎主体的な学びのための手立て)	評価規準と 評価の方法
導入	1. 前時までの確認を行う。	斉	□プレゼン発表する地方を確認させる。	
めあて 魅力ある旅行先を決めよう				
展開	2. グループごとに、個人で作成した資料をもとに調べた内容について発表し、グループ間で情報を共有する。	G 個	◎自分の考えを全体で説明し、発表する。お互いの意見をシェアリングさせる。	自分の担当箇所を発表することができる。 【思考・判断・表現】
	3. フォームズのアンケート機能を使って発表グループを評価し、電子黒板に結果を可視化する。	個	□机間指導しながら、活動を促す。	多角的・多面的に考察し、自分の考えを深めている。 【思考・判断・表現】
	4. 行先をグループで話し合った後、自分の結論と感想を書く。	G 個	◎自分の考えをグループで伝え合わせる。	
振り返り	5. 本時の学習を振り返らせる。	個		
まとめ 各グループのプレゼン発表を受け、行先を考え決定しよう				

【地理ワークシート】



めあて：「魅力ある旅行先を決めよう」

2年	組	号	氏名
----	---	---	----

1. 調べた内容をグループで発表しよう。他のグループの意見をメモし評価しよう。

() 地方 (A) 班	※最後にフォームズで評価しよう
どこが魅力？	
() 地方 (B) 班	※最後にフォームズで評価しよう
どこが魅力？	
() 地方 (C) 班	※最後にフォームズで評価しよう
どこが魅力？	
() 地方 (D) 班	※最後にフォームズで評価しよう
どこが魅力？	
() 地方 (E) 班	※最後にフォームズで評価しよう
どこが魅力？	
() 地方 (F) 班	※最後にフォームズで評価しよう
どこが魅力？	

2. グループで話し合った後の自分の結論と感想を書きましょう。

3. もっとも魅力がある旅行の行先はどこか。

<input type="checkbox"/> 九州地方	選んだ理由
<input type="checkbox"/> 中国・四国地方	
<input type="checkbox"/> 近畿地方	

4. 自己評価 [A・十分達成できた B・達成できた C・不十分だった]

(1) 単元を通して、自分の考えや知識が深まった [A B C]

(2) 資料を活用し、プレゼンテーションを作ることができた [A B C]

(3) 単元のまとめや考えを、他者に伝えることができた [A B C]

(4) 他者の考えを聞いて、自分の考えを深めることができた [A B C]

(5) 単元を通して主体的に取り組み、今後の生活にいかそうと思った [A B C]

(6) あなたのラーニングパートナーは？ []

